



国労東京支部

2023年3月8日

第39号

国鉄労働組合東京支部機関紙

発行責任者 松田 恭明

編集責任者 佐藤 賢一

大幅賃上げ獲得 ゆとりのある生活を！ 3・8国労東京支部春闘駅頭宣伝行動

国労東京支部は3月8日、新宿駅南口にて「駅頭宣伝行動」を取り組んだ。東京支部結成以降、コロナ禍で数多くの集会や会議を自粛せざるを得ない状況が続いてきたが、23春闘は初めて支部として取り組んだ春闘行動となった。一昨年の「昇級係数2カット」に対する怒り、そして今春闘での大幅賃上げ獲得に向けて、25名の組合員が結集し、「生活できる大幅賃上げ」を求めるとともに、JRの「安全・安定輸送」と「サービスの確保」を求めるチラシを配布して利用者に訴えた。



編集後記

数名の国労OBも参加しての宣伝行動となりました。ありがとうございました。先月からJESSの職場でエルダーとして働いていますが、若手プロパーの要求は切実です。低賃金、パスもない、社宅もないなど、JR社員と同じ仕事をしているのに、なぜこのような格差が生じるのか。少しでも格差を埋めるため、今春闘をがんばります。（K）

3月4日、国労の各種行動があった。常磐地区連絡会は10時30分から金町駅頭にて宣伝行動を行った。

また、東京地本は13時30分から新橋交通ビルにて、全分会長会議を開催した。仲間の発言を若干掲載する。

金町駅前宣伝行動

常磐地区連絡会は金町駅前にて宣伝行動を取り組んだ。

大幅賃上げ獲得！そして、「安全」や「サービス」をないがしろにするJRの施策に「問題あり」とチラシを配布して訴えた。



金町駅前での宣伝行動

国労東京地本全分会長会議より

安全問題

●3月2日夜、川越線の単線区間で「あわや正面衝突」との事象が発生した。原因は調査中、とのことだが、こうした事象については、東日本本部と連携をとってきちんと原因究明をすべき。

JESS連絡会の取り組み

●駅職場では一人勤務の問題、みどりの窓口が減っている問題で労働条件が悪化している。これは私たちだけではなく利用客にも迷惑をかけている。八王子のコールセンターには一日1,400件もの問い合わせが入るといふ。労働強化とサービスの低下をまねいている。

●JESSはまだいい方だが、ジェットやSCSPなどは、なかなか集まる場を持っていない。地本も声かけをして集まる場を設けて欲しい。



新橋交通ビルで全分会長会議

職場過半数代表者選挙について

●この間、国労組合員が立候補する中で、確実に票数は伸ばしてきているが、なかなか代表者になることはできない。全組合員がその気になって取り組む必要がある。

●WEB投票は、信通職場・電力職場でやられているが、国労組合員に投票したとみられる人に圧をかけているのでは？との場面もあるような気がする。公平・公正な選挙をすべきだ。

東京支部（恒本副委員長）

●23春闘は、ストライキを背景に取り組むべきだと思う。貨物・常磐地区の仲間と2・27、3・4と門前ビラ、駅頭宣伝を取り組み、3月8日は新宿駅南口で「東京支部駅頭宣伝行動」を取り組む。

●ダイヤ改正ではバリアフリー運賃が導入される。内部留保には手をつけず、利用者に負担を押しつけるのは公共交通としていかなものか？ 利用者に寄りそった行動を！

●次世代への運動継承に向けて、4月22日、平成採用者学習交流会を取り組む。地道に活動していきたい。